



# 開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.35

平成29年12月11日

文責：校長 伊藤孝行

## 平成30年度教育課程について 「変わる時」は「変える時」なのです②

2回目は、学習状況の変化と外国語活動について述べてみたいと思います。

### ① 年間授業日数の推移

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 1987年 | 1997年 | 2007年 | 2017年 |
| 247日  | 227日  | 204日  | 206日  |

### ② 年間授業時間数の推移（4～6年生）

|        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| 1987年  | 1997年  | 2017年 | 2018年  |
| 1015時間 | 1015時間 | 980時間 | 1015時間 |

上の二つの表をご覧くださいと30年前と現在では、年間の授業日数が大きく変わっていることが分かります。また、授業日数が減ったにも関わらず、授業時数が増えるということも分かります。

このことが、子どもたちの生活にどのような影響を及ぼすかという、4年生以上の子どもたちの6校時の授業が増え、学校生活が窮屈になり、特設活動の練習時間も少なくなるということが考えられます。

現在、日課表の見直しや行事の精選等を図りながら、子どもたちの学校生活が窮屈にならないよう検討を重ねています。

### ③ 外国語活動（英語）

グローバル化が進む現在、子どもたちは英語を使って仕事をしたり、英語を話す人が身近にいる環境で生活したりすることが予想されます。今後、ますます英語が重視され、中学校卒業段階で英検3級程度の力が求められます。それらを受け、来年からは、現在の英語表現科から外国語活動に変わり、学習内容も大きく変わります。

|       |             |
|-------|-------------|
| 英語表現科 | 外国語活動の内容    |
| 聞く・話す | 聞く・話す・読む・書く |

上記のように、新しく「読む・書く」学習も加わります。そして、実際にコミュニケーションとして必要とされる「英単語」を600から700語程度、小学校で指導するようになります。ここが一番の大きな変化です。

## 東京2020「マスコット投票」への参加

皆さんもご存知のように、2020東京オリンピック・パラリンピックの公式マスコットを選び投票を全国の小学校で行います。

開成小でも、今週から子どもたちからの投票を行い結果を委員会に報告します。

【最終候補の3デザインです】



開成小の子どもたちに選ばれるのはどのデザインでしょうか？そして、全国の小学生からNo.1に選ばれるのはどれでしょうか？

この投票を通じ、子どもたちがオリンピック・パラリンピックを身近に感じ、楽しみにしてほしいと思います。

## 子どもが苦手としている領域

6年生が毎年4月に取り組む全国学力・学習状況調査（通称、全国学力テスト）の国語の出題に「手紙」に関するものがあります。

メールやラインで、形式にとらわれず短い表現に慣れている子どもに手紙の形式は難しいのか、正答率は低くなっています。

改めて勉強するのではなく、年賀状を書く中で、楽しみながら必要最低限の宛名や文の書き方を学べればと感じています。